

EV バス試験運行の実績報告

1 目的

沼津駅－沼津港という異なる魅力を持つ拠点のネットワークの強化に向けて、従来の路線バスに加え、ゆったりと楽しく移動できる次世代モビリティを運行することで、新しい価値観による移動手段を確保し、来訪者が目的に応じた交通モードを選択できる環境を整備することで、新たな交通システムの可能性を検証する。

2 期間 平成 30 年 10 月 6 日(土)から平成 30 年 11 月 4 日(日)までの 28 日間。

※バッテリー不具合のため、28 日(日)は第 2 便まで運行、29 日(月)・30 日(火)は運休。

3 運行内容

平日は地域住民を中心とした買物・通院等の生活利用、土日祝日は旅行者の観光利用を検証するため、異なる形態で運行。

(1)平日 沼津駅 9 時 20 分発～17 時 10 分着 7 往復

・往復ともに全ての停留所に停車。

沼津駅⇄大手町⇄上土⇄仲町⇄宮町（新設）⇄下河原（新設）⇄第二小学校入口⇄沼津港

・沼津駅を毎時 20 分発、沼津港を毎時 50 分発と等間隔で運行。

(2)土日祝日 沼津駅 9 時発～20 時 30 分着 9 往復

・往路は沼津港へのアクセスを第一に考え、直行便。

沼津駅→沼津港（直通、途中停車なし）

・復路は、中心市街地へのアクセス性向上のため仲町、上土、大手町に停車（降車のみ）。

沼津港→仲町→上土→大手町→沼津駅

・夜間便（最終：沼津港 20:10 発）を運行。

4 実績

(1)乗車実績

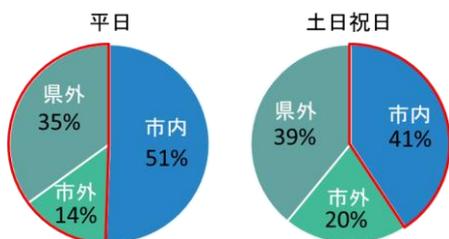
	日数	運行本数	総人数	平均
平日	17	238	1,642	6.9
土日祝日	11	184	1,347	7.3
総合計	28	422	2,989	7.1

・定員 9 人に対して、平均 7.1 人と高い乗車率。

①便毎の平均利用者数

便	発	平日		土日祝日	
		時刻	平均	時刻	平均
第1便	沼津駅発	9:20	4.0	9:00	7.8
	沼津港発	9:50	4.1	9:35	6.3
第2便	沼津駅発	10:20	8.5	10:05	8.8
	沼津港発	10:50	5.4	10:45	8.2
第3便	沼津駅発	11:20	8.7	11:25	9.0
	沼津港発	11:50	6.0	11:55	8.1
第4便	沼津駅発	13:20	7.6	13:30	8.3
	沼津港発	13:50	8.5	14:05	9.0
第5便	沼津駅発	14:20	7.3	14:35	8.5
	沼津港発	14:50	8.4	15:05	8.8
第6便	沼津駅発	15:20	7.3	15:35	8.6
	沼津港発	15:50	8.2	16:10	8.8
第7便	沼津駅発	16:20	6.7	17:40	6.1
	沼津港発	16:50	5.9	18:10	6.7
第8便	沼津駅発			18:40	5.0
	沼津港発			19:10	6.1
第9便	沼津駅発			19:40	2.2
	沼津港発			20:10	5.3

②地域属性

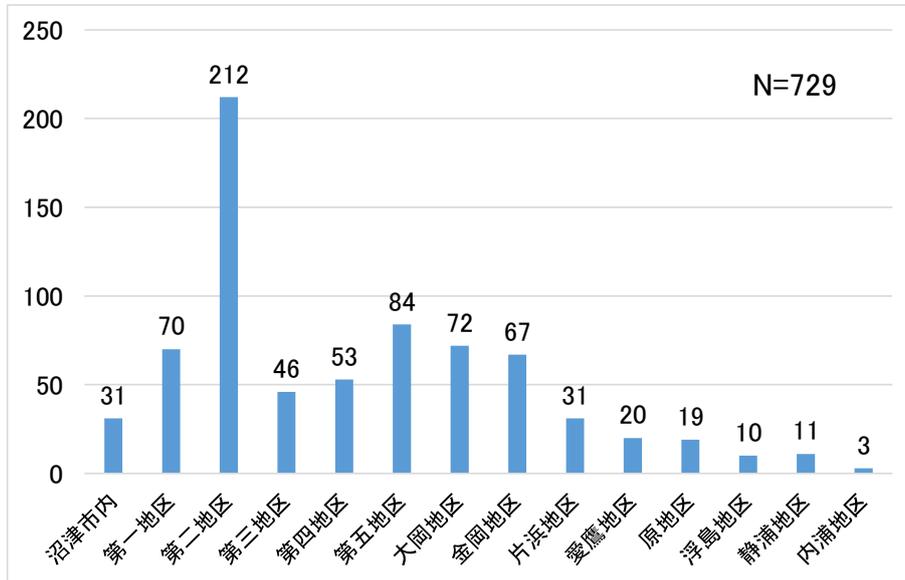


・平日においても半数が市外の方の利用であった。一方、土日祝日においても市民の利用は4割を占めた。

③住まい（沼津市内）

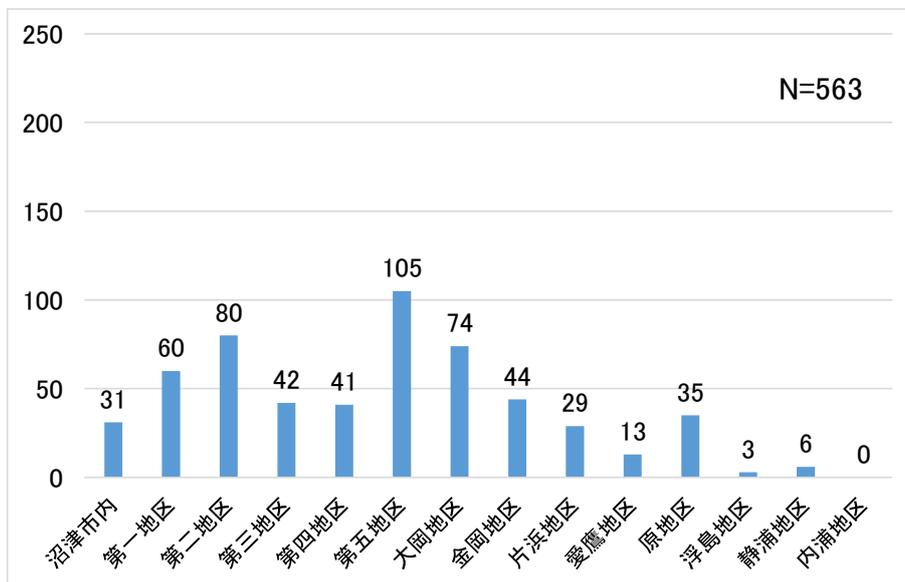
・平日

平日の利用者は第二地区の利用者が最も多く、第五地区の利用が2番目に多い。



・休日

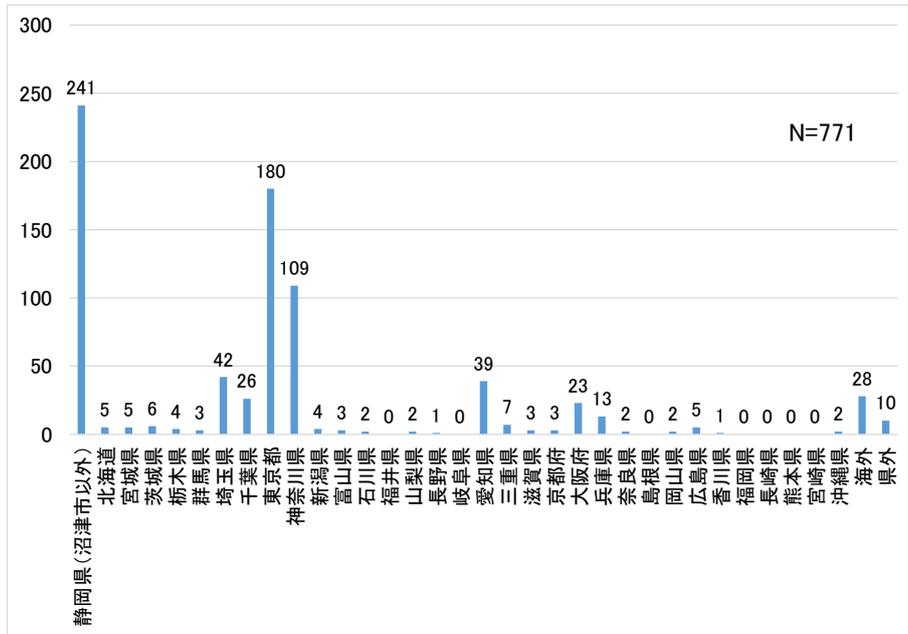
休日の利用者は第五地区の利用者が最も多く、第二地区の利用が2番目に多い。



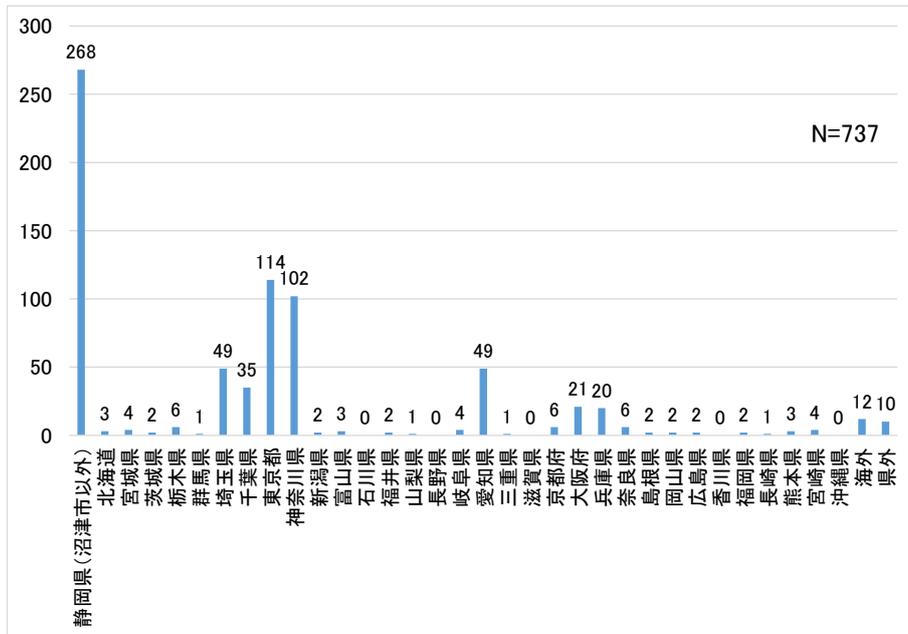
④住まい（沼津市外）

平日、休日の利用者は、静岡県内からの利用者が最も多いが、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県など）からの利用者が多い。その他に愛知県からの利用も多い。

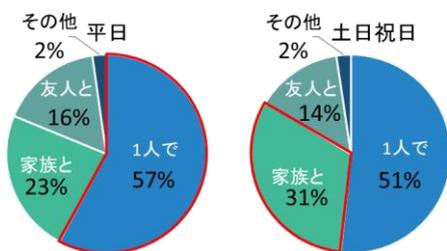
・平日



・休日



⑤グループ属性



・1人利用が半数以上を占めるとともに、土日祝日は家族利用（3割）が多くなっている。

⑥年代属性

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
平日	7.8	13.6	11.3	14.2	10.1	16.6	18.0	8.5
土日祝日	13.8	16.1	17.7	19.5	13.2	8.8	7.7	3.3

・バス利用としては珍しく、すべての年代で利用された。平日は高齢者の割合が高いが（市外から4割）、土日祝日は若年層（市外から7割）の利用が多かった。

(2)バス停利用実績

		沼津駅	大手町	上土	仲町	宮町	下河原	二小入口	沼津港
平日	乗車	54.4	0.2	0.6	0.4	1.4	0.8	0.7	41.6
	降車	39.2	1.9	4.2	1.2	2.1	4.0	4.3	43.2
土日祝日	乗車	50.1	/	/	/	/	/	/	49.9
	降車	86.4	3.4	9.2	1.0	/	/	/	-

※土日祝日の往路は、沼津港直行のため、復路の停留所のみで計算。

- ・乗降は起終点（沼津駅・沼津港）に集中した。
- ・降車について、観光客の大手町・上土停留所の利用がみられた。
- ・平日の地域住民（下河原町、宮町、千本港町等）の沼津駅までの買物利用や通勤・通学利用は、数%程度にとどまった。

(3)利用目的

	利用目的（複数回答可、選択率）						
	1. 観光	2. 通勤	3. 通学	4. 買い物	5. 通院	6. 食事・娯楽	7. EVバスに乘車
平日	44.6	2.3	1.1	20.5	1.4	22.0	32.2
土日祝日	47.9	1.1	0.0	10.0	0.1	24.3	41.9

・観光利用の割合が高いが、EVバスを目的とした利用の割合も高かった。

(4)利用動機

%

利用の動機（複数回答可、選択率）								
1. 無料	2. 車両の 魅力	3. 話題性	4. 先進性	5. 環境に 優しい	6. 運行ル ート	7. ダイヤ	8. 新規の バス停	9. 偶然見 かけたか ら
56.0	29.9	37.5	12.3	23.7	25.8	3.8	2.6	25.8

- ・利用者の56.0%が無料であることを最も多く選択し、偶然見かけたとの意見もあった。
- ・新聞やテレビでの紹介により、話題性が高く、車両の魅力、運行ルートや環境に優しいことも選択され、次世代モビリティへの関心の高さが示された。

(5)感想

%

感想（複数回答可、選択率）											
1. 人 に優し い	2. 開 放感が ある	3. 楽 しい	4. か わいい	5. 新 しい乗 り物	6. ま た乗り たい	7. 遅 い	8. 不 便	9. 魅 力はな い	10. 危 ない	11. 人 との距 離が近 い	12. も う乗り たくな い
35.6	62.0	36.7	33.1	40.6	41.6	2.5	0.3	0.2	0.4	5.5	0.2

- ・開放感があるが6割以上から選択された。また乗りたい以下、好意的な感想が多く選択され否定的な感想は少なかった。人との距離が近いについては、プラスの意味でとらえた方も含んでいる。
- ・観光振興やまちのブランド向上につながる良い企画であるとの意見も多く、本格運行への要望を数多く（313件、16.9%）いただいた。
- ・乗車人数や運行本数の増加（143件、7.7%）を求める意見も寄せられた。
- ・遅い速度については、風景が楽しめる、お店が発見できる、観光向き等、好意的な意見が見られた。

(6)生活の変化

%

生活の変化（複数回答可、選択率）				
1. 公 共交通 のきっ かけ	2. 外 出機会 を得た	3. 便 利にな った	4. 心 が豊か になっ た	5. 変 わらな い
17.2	33.7	35.1	37.9	6.0

- ・EVバスを利用したことによる生活の変化では、心が豊かになったとの回答が最も多く、満足度の高さが伺える。

(7)考察

- ・ **最高速度 19km** の車両の運行は不安もあったが、15 分弱で沼津駅－沼津港を結ぶことができ、利用者には**遅い印象を与えなかった**。
- ・ 十分な車道幅があったことにより、後続車に道を譲る運行ができ、**渋滞の要因となることはなく**、苦情もなかった。
- ・ 沼津港まで車で来た人が平日 11.3%、土日祝日 15.3%利用しており、観光客を**中心市街地に呼び込む**効果をあげた。
- ・ EV バスの乗車を目的とし、かつ普段の移動手段として自家用車を使用している方の乗車日の交通手段を見ると、自家用車を使用した人は 34.6%に留まっており、**自家用車利用の抑制につながった**。
- ・ 上記の自家用車からの利用転換の手段としては、電車 29.7%、バス 21.6%となっており**移動手段の公共交通への転換**につながった。

(8)まとめ

- ・ EV バスの試験運行は、多くの市民や観光客に利用され、公共交通への関心度の向上や移動手段の転換につながり、意義のある社会実験となった。
- ・ 中心市街地のまちづくりの重要な視点である「沼津駅－沼津港」間において、新たな交通モードの提供により連携強化が図られ、中心市街地への**にぎわいの波及**につながった。
- ・ CO₂の排出量が少ない低炭素型モビリティは、環境を大切にするまちとしてイメージアップ向上に寄与した。

⇒本格運行に向けて、バス事業者と連携して検討を進める。

- ◎ **自動車利用の抑制**及び**公共交通への利用転換策**
- ◎ 沼津駅－沼津港間の**多様なアクセスによる連携強化**
- ◎ **中心市街地へのにぎわいの波及**
- ◎ **環境に配慮**した車両活用による**イメージアップ**
- ◎ **低速運行**による交通環境に与える**影響は限定的**

